

評価者	こどもみらい部長	平井 あかね
-----	----------	--------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援
目標とすべきまちの姿	次代を担う子どもたちが健やかにのびのびと成長できるよう、子育て家庭への支援の充実が図られており、また、支援ネットワークを通じて、支援サービスに係る情報提供が積極的に行われています。地域や関連機関との連携など、子育てに関する相談体制の充実が図られ、育児放棄や児童虐待は少なくなっています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	20.0%	平成30年度(2018年度)	18.3%	平成29年度(2017年度)	19.9%
	平成28年度(2016年度)	21.1%	平成27年度(2015年度)	20.5%		

(2) 妥当性

令和元年度(2019年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	4.0%	2.1%	0.8%
ちょうどよい	4.5%	39.7%	1.4%
効果不十分	4.0%	4.0%	14.4%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成30年度(2018年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	5.5%	0.8%	0.8%
ちょうどよい	3.1%	41.2%	2.5%
効果不十分	3.5%	3.3%	16.5%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成29年度(2017年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	3.5%	2.1%	0.4%
ちょうどよい	3.9%	39.9%	2.5%
効果不十分	2.5%	3.5%	17.8%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成28年度(2016年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.8%	2.8%	0.4%
ちょうどよい	4.8%	36.8%	0.5%
効果不十分	2.3%	3.6%	21.5%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.9%	1.7%	0.3%
ちょうどよい	3.6%	37.1%	0.9%
効果不十分	3.0%	3.6%	22.2%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	29.6%	38.6%	6.1%	25.8%
平成30年度(2018年度)	32.2%	39.8%	5.3%	22.6%
平成29年度(2017年度)	30.2%	40.9%	4.7%	24.1%
平成28年度(2016年度)	32.9%	38.2%	3.6%	25.4%
平成27年度(2015年度)	33.8%	37.6%	2.7%	25.9%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

<p>【すべての子ども】 ①「冒険遊び場」の常設化を実施する。子育て家庭に情報提供をするために保育コンシェルジュ、子育てメディアスポットの更なる活用を図るとともに、子育て家庭を対象とした講座・イベントなどの開催の支援を行う。(こども-02)</p> <p>【未就学児】 ②子育て中の親子に対して身近に集える場所を提供し、親子同士が交流できるようにするため、継続して腰越地域におけるつどいの広場を運営する。(こども-03) ③子育て支援センターについて、未整備となっている腰越地域での設置に向けた検討を行う。多様化する子育てニーズに対応するため、子育て支援情報の把握及び積極的な情報発信を行い、地域全体で子育てを支援していくため、各事業を継続して実施していく。(こども-19)</p> <p>【幼稚園・保育所等に通う子ども】 ④公立保育所の修繕を計画的に実施し、ふるさと寄附金を活用した関連施設の修繕を実施するとともに、突発的な修繕にも適時、適切に対応する。(こども-04) ⑤国の制度に基づき、幼児教育無償化を実施する。私立幼稚園教材教具購入費等及び健康診断費補助金及び鎌倉私立幼稚園協会補助金事務を適切に行う。(こども-05、10) ⑥幼稚園における、預かり保育事業に対して補助事業を継続して実施する。(こども-07) ⑦鎌倉地域及び大船地域で病児保育事業と病後児保育事業を継続して実施し、保護者の負担軽減に努める。(こども-14) ⑧待機児童対策として、保育士の派遣を活用するとともに、保育スタッフの弾力的配置等により定員を超えた弾力的な運用による受け入れを進める。(こども-15)</p> <p>【特別な支援を要する子ども】 ⑨育児放棄や児童虐待に対する予防、早期発見を目指すため、各種相談事業や家庭訪問など、相談体制を充実させる。(こども-17、こども-20) ⑩児童発達支援センターあおぞら園の指定管理者制度の令和3年度からの導入に向けて、事業者の選定の事務等を行う。(こども-35)</p> <p>【就学児】 ⑪子どもの家について、安定した運営を行うため公設公営から指定管理へ転換していくとともに、放課後こども総合プランへの移行や民間事業者の活用を進めていく。(こども-29) ⑫放課後こども総合プランについて、令和2年度に全校実施するための環境整備を進める。(こども-29)</p>

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

<p>①②③「冒険遊び場」を常設して子どもがのびのび育つ環境を整えるとともに、つどいの広場の運営等を実施しながら、腰越地域の子育て支援センター設置に向けた検討を行うとともに、保育コンシェルジュや子育てメディアスポットを活用して子育てに関する情報提供を行い、子育て家庭への支援の充実を図る。 ④⑤⑥⑦⑧幼稚園における預かり保育への補助事業を継続して実施するなど、幼稚園や保育所での教育・保育内容を充実させる取組を行うとともに、保護者の負担軽減を図ることにより、子どもたちが健やかにのびのびと成長できる環境を整えることができる。 ⑨地域との連携を深めるとともに、相談体制を充実し、家庭訪問等を行い、育児放棄や児童虐待を未然に防止することにつながる。 ⑩あおぞら園での事業を実施することで、特別な支援を必要とする子どもが健やかにのびのびと成長することができる。また、特別な支援を必要とする子どもを養育する家庭への情報提供や相談対応を行うことで支援の充実が図られる。 ⑪⑫子どもの家の指定管理の導入により民間のノウハウを取り入れた運営を行うとともに、放課後子ども総合プランの拡大により、子どもたちの居場所を確保し、子どもたちが健やかにのびのびと成長できるよう支援することができる。</p>
--

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託事務	今後の方向性	
整理番号	事業名	令和元年度(2019年度)	平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	平成30年度(2018年度)		事業内容	予算規模
こども-01	児童福祉運営事業	2,484	3,520	2.5	2.5	無	b	B
こども-02	子育て支援事業	7,360	4,582	2.2	2.2	無	b	B

こども-03	地域子育て支援拠点事業	2,368	2,946	1.5	1.5	無	b	B
こども-04	公立保育所管理運営事業	27,608	14,197	1.6	1.2	無	b	B
こども-05	就園支援事業	444,122	390,791	1.8	1.8	無	b	A
こども-07	私立保育所等助成事業	13,757	12,944	1.0	1.0	無	d	B
こども-10	児童福祉運営事業	36,351	17,491	0.1	0.1	無	b	B
こども-11	特定教育・保育施設支援事業	2,820,882	2,562,648	2.5	2.5	無	b	A
こども-12	特定地域型保育支援事業	199,106	163,184	2.0	2.0	無	b	A
こども-13	特別保育事業	125,048	110,087	1.5	1.5	無	b	B
こども-14	私立保育所等助成事業	446,309	390,995	1.0	1.0	無	b	B
こども-15	公立保育所管理運営事業	411,421	404,753	88.9	95.4	無	b	B
こども-17	児童福祉運営事業	19,667	16,364	1.3	1.3	無	b	B
こども-18	子育て支援事業	1,640	1,745	0.3	0.3	無	b	B
こども-19	地域子育て支援拠点事業	30,326	30,281	0.5	0.5	無	b	B
こども-20	ファミリー・サポート・センター事業	11,065	11,084	0.8	0.8	無	b	B
こども-21	養育支援訪問等事業	994	779	0.2	0.2	無	b	B
こども-22	児童手当支給事業	2,212,115	2,266,812	2.0	2.0	有	b	B
こども-23	入院助産等事業	7,368	5,426	0.2	0.2	有	b	B
こども-24	ひとり親家庭等生活支援事業	361,124	293,060	1.7	1.7	有	b	B
こども-25	小児医療助成事業	475,617	472,321	2.4	1.2	無	b	B
こども-26	未熟児養育医療事業	5,701	7,096	0.1	0.3	有	b	B
こども-27	ひとり親家庭等医療助成事業	55,903	56,615	0.3	0.5	無	b	B
こども-28	子ども会館・子どもの家管理運営事業	384,170	447,062	2.4	2.4	無	d	B
こども-29	放課後子ども総合プラン運営事業	275,966	94,514	4.7	4.1	無	a	A
こども-35	あおぞら園管理運営事業	56,749	72,763	15.1	15.8	無	a	C

(4) 主な実施内容

<p>【主な実施内容】</p> <p>【すべての子ども】</p> <p>①令和元年（2019年）11月から、常設の「冒険遊び場」を開設した。また、子育て家庭に情報提供をするために保育コンシェルジュ、子育てメディアスポットを活用するとともに、子育て家庭を対象とした講座・イベントなどの開催に係る費用の一部を助成した。（こども-02）</p> <p>【未就学児】</p> <p>②つどいの広場等、子育て中の親子が身近に集い、交流できる場所を提供した。（こども-03）</p> <p>③子育て支援センターについて、未整備となっている腰越地域での設置に向けた検討を行った。多様化する子育てニーズに対応するため、子育て支援センターを指定管理により運営し、地域の子育て家庭に対する育児支援を行った。（こども-19）</p> <p>【幼稚園・保育所等に通う子ども】</p> <p>④公立保育所の効率的な運営と維持管理に必要な修繕を適時、適切に実施した。（こども-04）</p> <p>⑤国の制度に基づく幼児教育無償化を令和元年（2019年）10月から実施した。私立幼稚園教材教具購入費等及び健康診断費補助金及び鎌倉私立幼稚園協会補助金にかかる事務を適切に行い、幼児教育の充実を図った。（こども-05、10）</p> <p>⑥子育て支援対策、待機児童対策として、私立幼稚園の預かり保育に対する補助金を交付し、子育て支援の充実を図った。（こども-07）</p> <p>⑦鎌倉地域及び大船地域で病児保育事業と病後児保育事業を実施し、保護者の負担軽減を行った。（こども-14）</p> <p>⑧保育士の派遣を活用し、保育スタッフの弾力的配置等により定員を超えた弾力的な運用による受け入れを進め、待機児童の削減に努めた。（こども-15）</p> <p>【特別な支援を要する子ども】</p> <p>⑨相談員やファミリーサポートセンターの支援会員のスキルアップを図るため、要保護児童対策地域協議会の関係機関のうち、庁内関係課の職員による研修を実施するとともに、外部研修への積極的な参加を促し、相談体制を充実させた。（こども-17、こども-20）</p> <p>⑩障害児支援の拠点施設として、専門性向上を目的とした職員研修プログラムや他事業所からの研修生の受け入れ等を行い、民間事業所との連携や情報共有を行う。また、県内同様施設の多くが運営形態を指定管理に移行している状況を踏まえ、今後に向けた鎌倉市の障害児支援の全体的な方向性の中で、サービスの充実を前提としたあおぞら園の指定管理の導入を進めていく。（こども-34）</p> <p>【就学児】</p> <p>⑪子どもの家について、安定した運営を行うため公設公営から指定管理へ転換していくとともに、放課後子ども総合プランへの移行や民間事業者の活用を進めていく。（こども-29）</p> <p>⑫放課後子ども総合プランについて、令和2年度に全校実施するための環境整備を進める。（こども-29）</p> <p>【実施できなかった事業とその理由等】</p>
--

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切 □ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切 □ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切 □ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切 □ 要改善
<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>		

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	こども-02	事業名	子育て支援事業					
指標の内容	「冒険遊び場」の開催回数			単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	常設化は令和元月9月開始予定だったが、11月からの実施となった。加えて、コロナにより開催できなかった日がある。
「冒険遊び場」常設化に向けて、具体的な事業実施の手法の検証となるため。	目標値	12.0	12.0	24.0	24.0	24.0	130.0	
	実績値	11.0	12.0	22.0	22.0	22.0	54.0	
	達成率	91.7%	100.0%	91.7%	91.7%	91.7%	41.5%	
整理番号	こども-03	事業名	地域子育て支援拠点事業					
指標の内容	子育て支援センターの無い地域におけるつどいの広場の開設状況			単位	地域	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	該当地域は腰越
各地域においてサービスの平等性を担保するため。	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	実績値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
整理番号	こども-04、15	事業名	公立保育所管理運営事業					
指標の内容	待機児童数(各年度4月1日現在)			単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	平成30年度より待機児童の算出方法が変わり、潜在的待機児童としてカウントされることとなったため、目標値の下方修正を行っている。
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められているため。	目標値	5.0	3.0	1.0	0.0	30.0	15.0	
	実績値	55.0	50.0	44.0	47.0	93.0	78.0	
	達成率	9.1%	6.0%	2.3%	0.0%	32.3%	19.2%	
整理番号	こども-04、15	事業名	公立保育所管理運営事業					
指標の内容	入所児童数(各年度4月1日現在)			単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	待機児童数から算出した目標値に向け、施設整備を進めており、入所児童数の目標は概ね達成しているが、それを上回る新たな保育希望が発生するため、待機児童の目標達成には至っていない。
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められているため。	目標値	-	2,578.0	2,499.0	2,411.0	2,791.0	2,825.0	
	実績値	2,241.0	2,404.0	2,434.0	2,438.0	2,535.0	2,641.0	
	達成率	-	93.3%	97.4%	101.1%	90.8%	93.5%	
整理番号	こども-05	事業名	就園支援事業					
指標の内容	就園奨励費の補助対象となる園児数(幼稚園の類似施設を含む)			単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	認定こども園へ移行した幼稚園の園児数を目標値から控除している。
幼児教育の推進状況の把握のため	目標値	2,675	2,486	2,486	2,486	2,316	2,204	
	実績値	2,675	2,392	2,335	2,308	2,130	1,797	
	達成率	100.0%	96.2%	93.9%	92.8%	92.0%	81.5%	
整理番号	こども-13	事業名	特別保育事業					
指標の内容	利用者支援事業の推進(保育士資格を有する保育コンシェルジュ設置)			単位	箇所	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められているため。
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められているため。	目標値	-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	
	実績値	-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	
	達成率	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

整理番号	こども-19	事業名	地域子育て支援拠点事業									
指標の内容	子育て支援センター利用者数(利用者(親子)の総人数)					単位	人	指標の傾向	↘	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
児童虐待相談体制の充実を図るため	目標値	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000					
	実績値	22,287	30,946	36,792	35,006	39,711	31,595					
	達成率	69.6%	96.7%	115.0%	109.4%	124.1%	98.7%					
整理番号	こども-17	事業名	児童福祉運営事業									
指標の内容	こどもと家庭の相談室の相談件数					単位	件	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
児童虐待相談体制の充実を図るため	目標値	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0					
	実績値	380.0	434.0	386.0	461.0	496.0	479.0					
	達成率	95.0%	108.5%	96.5%	115.3%	124.0%	119.8%					
整理番号	こども-28	事業名	子ども会館・子どもの家管理運営事業									
指標の内容	子どもの家登録者数					単位	人	指標の傾向	↘	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
放課後かまぐらっ子の実施に伴い、子どもの家(学童保育)のニーズを確保することができるため。地域子ども子育て支援事業のニーズ見込みについて、2018年に見直しを行っている。	目標値	-	1,691.0	1,673.0	1,686.0	-	-			H29以降は指定管理施設を含む		
	実績値	1,355.0	1,649.0	1,719.0	1,765.0	1,577.0	1,463.0					
	達成率	-	97.5%	102.7%	104.7%	-	-					
整理番号	こども-29	事業名	放課後子ども総合プラン運営事業									
指標の内容	放課後かまぐらっ子実施数					単位	箇所	指標の傾向	↗	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
令和2年度中に全校実施するための指標となるため	目標値	-	-	-	-	2.0	9.0			令和2年度末までに全16小学校区で実施予定		
	実績値	-	-	-	-	2.0	9.0					
	達成率	-	-	-	-	100.0%	100.0%					
整理番号	こども-35	事業名	あおぞら園管理運営事業									
指標の内容	延べ利用人数					単位	人	指標の傾向	↘	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
児童発達支援センターあおぞら園の利用ニーズを把握する指標	目標値	6,270.0	6,210.0	6,153.0	5,661.0	5,108.0	5,424.0			・開園日数 H30年度229日 H29年度226日 H28年度224日 H27年度223日 H26年度230日		
	実績値	6,272.0	5,680.0	4,785.0	3,695.0	4,365.0	3,975.0					
	達成率	100.0%	91.5%	77.8%	65.3%	85.5%	73.3%					